

「ごあいさつ」

株主の皆様へ。

株主の皆様におかれましては、
ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
2004年度(2004年4月1日～2005年3月31日)の
事業概況についてご報告申し上げます。



取締役社長

梶尾和雄

「業績・全般概況」

業績及び全般概況について

当期におけるわが国経済は、緩やかながら回復傾向を示し、堅調に推移いたしました。しかし、輸出の減速や個人消費の伸び悩みなど懸念材料も期の後半にかけて顕在化し、景気の先行きに不透明感が出てまいりました。海外においても、米国経済やアジア経済の伸びが鈍化するなど、景気の拡大は緩やかなものとなりました。

当グループ関連市場については、全体は回復傾向で推移いたしました。秋口以降の需給バランスの悪化による在庫調整や製品価格の下落など先行きに懸念材料も出てまいりました。このような環境のもと、当グループは経営目標の達成に向け、時計、デジタルカメラ、電子辞書、携帯電話、TFT液晶といった戦略事業を強力に推進・展開するとともに、利益率の改善、資本効率の向上など経営効率化に一層の注力を図ってまいりました。

その結果、当期の連結売上高は、戦略事業の拡大により前期比6.8%増の5,590億円となりました。利益面につきましては、戦略事業における商品力の強化による付加価値の大幅改善、経営効率化の推進など、利益体質の強化に努めた結果、営業利益は390億円(前期比42.0%増)となりました。また、経常利益は金融収支の改善を始めとする財務体質強化施策の効果により335億円(前期比56.6%増)、当期純利益は215億円(前期比51.9%増)となり、当期の業績は売上高、利益とも過去最高を達成いたしました。

これをふまえ、当社は当期の配当金を1株につき2円増配し、1株につき17円とさせていただきます。当社の増配は、2期連続となります。

CONTENTS

業績のご報告	
■ごあいさつ	1
■業績・全般概況	2
■業績ハイライト(連結)	3
■部門別の概況(連結)	4
■次期の業績見通し/中長期的経営戦略	7
現在の動向	
■当期の事業活動	9
■トピックス	11
■注力事業紹介(時計事業)	13
■CSRへの取り組み	15
DATA	
■主要財務指標(連結)/ 要約財務諸表(連結)	17
■主要財務指標(単独)/ 要約財務諸表(単独)	19
■株式情報	21
■会社概要/主要製品(連結)/役員	22
■株主メモ	裏表紙